

感染症の予防のための情報提供について

	事例（１）	事例（２）
病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
年齢・性別	20歳代・男性	20歳代・男性
職業	会社員	会社員
住所	桑名市	桑名市
発病年月日	令和4年9月20日	令和4年9月22日
診断年月日	令和4年9月29日	令和4年9月30日
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・9月20日 発熱がみられた。 ・9月21日 腹痛がみられた。 ・9月22日 下痢、血便がみられた。 ・9月23日 症状継続したため、桑名市内の医療機関を受診した。 ・9月29日 9月23日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月22日 腹痛、下痢、発熱がみられた。 ・9月23日 血便がみられた。 ・9月24日 症状継続したため、桑名市内の医療機関を受診した。 ・9月30日 9月24日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。
現患者症状	症状なし	快方に向かっています。
【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（桑名保健所）		

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
患者	32	29	22	26	23
保菌者	19	20	13	11	18
計(感染者)	51	49	35	37	41

※2022年1月1日～2022年10月4日現在まで本件含む

2022年内 患者：O157（21人）、O26（1人）、型不明（1人）

保菌者：O157（8人）、O146（2人）、O115（2人）、O103（1人）、
O26（2人）、型不明（3人）

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱（菌を殺す）

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。

肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。

ひき肉は、十分に加熱をしましょう。

焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。

井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却（菌を増やさない）

調理した食品はすぐに食べましょう。

冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。

③ 清潔（菌をつけない）

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。